

市長から市民のみなさんへ

75

山口野田市長 白井 博文

山口東京理科大学は市の誇りです

本市にある山口東京理科大学は、基本理念に「世界的視野で物事を思考できる人間性豊かな科学技術者の育成」を掲げています。日本トップクラスの優秀な教授陣に師事し、充実した施設で学生生活を送り、切磋琢磨する中で、「大化け」した学生たちは、卒業後、産業界の最先端技術を支え、あらゆる分野で活躍しているとききます。開学以来、脈々と受け継がれてきた伝統は、就職率 99%という数字が物語っています。

4 ページからの特集は、山口東京理科大学に通う学生 6 人の将来の夢や考えを語ってもらい、「理大生」の実像に迫ってみようと企画されたものです。「遊ぶ場所がない」「市のことをよく知らない」「夜道の街灯がなくて怖い」など、市にとっては耳の痛いお話もありました。いつか学生のみなさんと実際にお会いして、語り合う日が来ることを楽しみにしています。

将来の夢をしっかりと持ち、その夢を叶えるべく一層、勉学に励まれることを期待してやみません。

自治基本条例フォーラムにご参加ください

3 ページにありますように 7 月 26 日に自治基本条例フォーラムが開催されます。この条例については、制定に向け、市民憲章の「このまちの未来のために自ら考えます」という一文をまさに地で行くような活動が、「自治基本条例をつくる会」のみなさんを中心に 1 年以上続けられています。

私は、自治基本条例とは、真の意味での市民本位の行政が行われるためには市民同士がお互いにどんな工夫が必要なのかという点について明文化し、他の条例をはじめ、さまざまな制度を補完するために存在するものと考えます。そのような観点から考えると、合併以降、苦しい財政状況の中で、市民のみ

対話の日

【いずれの会場も 19:00 から】



7月10日(木)千町二、三区公会堂
7月24日(木)松角自治会館

なさんが力をあわせ、市に活力を与え続けてくれている状況は、すでに自治基本条例の精神が芽吹きはじめているように思います。

「自治基本条例」という固い言葉の響きに敬遠なさらず、多くの方にフォーラムに参加していただきたいと思います。そして、ふだん意識することなく暮らしている「わがまち」について、考えを深めていただくきっかけになることを期待します。

目の不自由な方へ広報をお届けします

6 月議会で「目の不自由な方にも広報をお届けできないか」という一般質問がありました。早速、答弁を行うにあたり資料を取り寄せたところ、市内には約 200 人の視覚障がい 1,2 級をお持ちの方がいらしゃるにもかかわらず、カセットテープや点字で広報紙の情報を得ている方がわずか 20 人前後という現状の報告を受け、驚きをかくすことができませんでした。

目の不自由な方はお気軽に広報広聴課までお問い合わせください。カセットテープや点字による広報紙をお届けできるように手配いたします。このコラムも準備が整い次第、私自身の声でお届けする予定です。

また、毎号、広報紙が発行されるたびにテープへの吹き込みや点字翻訳の作業を行っていただいているボランティアグループのみなさん、この場を借りて厚くお礼を申し上げます。ご労苦は想像に難くないところです。これからもよろしく願います。



ご利用ください
声の広報・点字の広報

目が不自由な方のために、音声テープや点字の広報の貸出しを行っています。ご希望の方はお知らせください。☎広報広聴課 (☎ 82-1133 FAX 83-9336)